

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	利用者と家族にとって、日常的な地域とのつながりは意思の尊重を保つ重要なキーポイントであるため、コロナ禍においても新しい地域交流の考え方や工夫が実践されることを期待する。	コロナ禍での、地域やボランティアとの交流方法を工夫する。	・コロナウイルス感染防止に配慮の上、地域の行事に年3回以上参加、また事業所主催の行事にも年3回以上参加していただく。 ・インターネット面会の推進。 ・地域の児童やボランティアとのネットを介した交流会の実施。	1年
2	10	コロナ禍に限らず、利用者や家族は社会環境の変化に敏感に反応する。年1回に限らず、様々な機会を設けて、積極的にアンケート調査を行うことが望まれる。	社会の環境や情勢に合わせた施設運営を行うために、利用者や家族に対しアンケート活動を行う。	①利用者へは定期的に懇談会を実施し、日々の生活や行事への希望を伺う。 ②家族へは上半期、下半期の年2回、また施設の催事等に参加された家族に対してアンケート調査を行う。	1年
3					
4					ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。